

「歯を守れ！予防歯科に命を懸けた男」を読んで

医療法人すみれ おおくぼ歯科クリニック 受付 喜多 真弓

私は今までにも「プロフェッショナル」や「カンブリア宮殿」を拝見したり、毎年チームミーティングに参加させてもらっているのですが、熊谷先生の予防歯科への思いや熱意は十分に存じ上げておりましたが、本を読んでも熊谷先生の表情が頭に浮かび、熱意やぶれない精神を改めて感じました。熊谷先生だけでなく、熊谷先生とともに働く日吉歯科スタッフも同じ熱意やぶれない精神をお持ちであるがゆえに、日吉歯科の予防歯科が成功しているのもよくわかりました。一人の気持ちを動かすのも難しいですし、大人数のスタッフが同じ方向をむくことは簡単ではないことは痛感しております。

当クリニックでもこの本を販売させていただいており、購入して下さった患者様に感想を聞いてみたところ「治療ではなく予防の大切さと、今更ですがどうして何回も通うかがよく分かりました。」とお言葉をいただきました。

当クリニックでは、初診の予約をいただく際に予防に力を入れていること、治療までの流れをざっとですが説明しております。やはり言葉だけで説明すると分かるようではなかなかはっきりとは理解してもらえないのかもしれませんが。この本を読んでもいただくのが一番伝わるような気がしました。

まずは私が今すぐ出来る事として、身近な存在である家族にこの思いを伝えたくてこの本を読んでもらっています。私が歯科で勤めるまでは「全く歯のことは考えていなかった。こんなに全身に影響するとは思っていなかった。」と驚いています。そして最近私の周りの友人達は出産ラッシュなので、赤ちゃんの時から歯に対する意識を持ってもらいしっかり虫歯予防してもらうために私の知っている知識はできるだけお話しするようにしています。やはり我が子の健康の事には熱心なママが多いので興味深く聞いてくれます。

日本の歯科の保険制度も、もし私が歯科に勤めていなければおそらく知る事は無かったと思いますし、なかなか知る機会がないのでは？とも思います。当クリニックでも保険のメンテナンスから自費のメンテナンスに移行していますが、その際にトリートメントコーディネーターや衛生士が、保険制度の話をしてきています。そこで納得される患者様も多くいらっしゃいます。理解できず予約が途絶える患者様もなかにはいらっしゃいますが、こういった、日本の保険制度の状況を発信をしていくのも歯科で勤める私達の仕事なのではないかと思えます。

熊谷先生には予防歯科への思いだけでなく、ぶれない精神をもつ大切さを教えてもらいました。私も年始にたてた目標をもとに自分に対する軸をはっきりし、その軸がぶれることが無いよう貫いていきたいと思えます。